

広報

あしや

No. 1058

平成23年
(2011年)

4月15日号

毎月1日・15日発行

Garden City Ashiya

発行/
芦屋市役所(広報課)
TEL. 0797-31-2121/FAX. 0797-38-2152
〒659-8501兵庫県芦屋市精道町7番6号
ホームページ
http://www.city.ashiya.lg.jp/
メールアドレス
info@city.ashiya.hyogo.jp



「がんばれ東北～東日本大震災被災地支援～」
4月2日・3日の両日、本年はさくらまつり本部会場で義援金を募集、約61万円の市民の皆さんの温かい支援が集まりました。

東北地方太平洋沖地震・被災地支援

問い合わせ 行政経営課 ☎38-2005

四月七日現在での、本市の被災地支援の取り組みについて、お知らせします。

《職員等の派遣》

- 避難所管理運営支援(宮城県石巻市) 第一陣から第三陣まで、各一人・合計六人の職員を三月二十八日から四月十四日まで派遣しています。
- 支援対策現地調査(宮城県石巻市) 職員二人を派遣しています。
- ・四月二日～四日
- 保健師の派遣(宮城県仙台市) 保健師二人を派遣しています。
- ・四月一日～六日
- 水道応急給水(岩手県盛岡市) 職員二人を派遣しています。
- ・四月一日～八日
- 炊き出し支援(宮城県石巻市) 調理職七人を派遣しています。
- ・四月三日～六日
- 緊急消防救援隊(宮城県山元町) 消防職五人を派遣しています。
- ・四月七日～十三日

《支援物資の提供》

四月一日から七日までに、市民の皆さんからご提供いただいたたくさん

本市の被災地支援の取り組み

の物資を、四月八日に宮城県石巻市に届けました。この間、物資の提供にご協力いただきました市民の皆さんならびに物資受付等の作業に従事していただいたボランティアの皆さんに、心からお礼を申し上げます。

《市長の被災地訪問》

四月十二日から十三日にかけて、山中芦屋市長が宮城県石巻市を訪問し、阪神・淡路大震災の被災自治体として復旧復興の経験を伝え、今後の避難所対策等を含む復旧復興の課題と対応策の協議を行いました。

《義援金の募集》

「東北地方太平洋沖地震災害義援金募集委員会」では三月十五日から市内の公共施設各所に募金箱を設置しています。引き続き、市民の皆さんのご協力をお願いします。



11公園に健康遊具を設置 親王塚公園が開園しました

問い合わせ 公園緑地課 ☎38-2065

市内11公園に、高齢者介護予防施策の一環として活用していただける健康遊具を設置しました。そのほか、呉川・翠ヶ丘・岩ヶ平の3公園には、老朽遊具を撤去し、複合遊具を設置しました。これらの遊具は、遊具整備費として匿名でいただいたご寄附により、設置したものです。



親水中央公園の健康遊具

健康遊具等を設置した公園		
遊具追加	—	芦屋公園、旧防潮堤緑地、陽光公園
遊具新設	介護予防の拠点公園	岩ヶ平公園、芦屋中央公園、親水中央公園
	介護予防の準拠点公園	奥池園地、朝日ヶ丘北公園、津知公園、春日公園、潮見西公園



親王塚公園

これまで公園がなかった親王塚町に、4月2日「親王塚公園」が開園しました。これは、公園用地・公園整備費として寄附いただいた西田房子さん(同地在住)のご遺志に沿うべく整備されたものです。皆さんの憩い・地域交流の場として、大いにご活用ください。

芦屋市長・市議会議員 選挙投票日

芦屋市長・市議会議員選挙

投票日	4月24日(日) 午前7時～午後8時
期日前投票	■市役所北館1階玄関西側 4月18日～23日・午前8時30分～午後8時
	■ラポルテ市民サービスコーナー横 (ラポルテ本館3階) 4月18日～23日・午前10時～午後8時

問い合わせ 選挙管理委員会 ☎38-2100

経済課・消費生活センター

旧保健センターへ移転

4月11日(月) 新事務所で業務開始

四月十一日(月)から、経済課・消費生活センターが、旧保健センターのあった公光町に移転、業務しています。新しい事務所の所在等は、次のとおりです。

所在地 公光町五番十号(〒659-0065)

電話等 商工観光担当：☎38-2033
消費生活担当：☎38-2179
消費生活センター(相談専用)：☎38-2034

問い合わせ 経済課 ☎38-2033



平成23年度 組織改正・人事異動

平成23年度の組織改正については、保健福祉部に新たに参事を設け、高齢者・障がい者・子どもに対して総合的に支援するため「トータルサポート担当」を設置、入札・契約制度の見直しに伴い契約と検査担当を統合、また危機管理体制の充実・強化を図るため危機管理業務を行政経営課に移管し、公的債権を一元管理するため新たに「債権管理課」を設置しました。さらにJR芦屋駅南地区の整備に向け「都市整備課」を新設、市有建築物の一括管理を進めるため建築課に担当を新設し、住宅課に市営住宅の建て替えを推進する担当を新設しました。

要員については、限られた人員で市民ニーズに即した事務事業を実現するため人員配置を考慮し、それぞれの事務事業の進捗状況等に見合った組織の確立や、民間活力の導入を引き続き図りながら、簡素で効率的な体制を目指していきます。

人事異動では、平成22年度末に引続き多くの職員が定年退職しましたので、今後の職員構成を見据えながら、組織機能のより一層の円滑化を図るため、各職階層において若手職員をはじめ、女性職員の積極的な登用も行き、課長級以上では、部長級10人、課長級51人を含む、総勢249人の人事異動を行いました。

【部長級以上の異動】

技監・井上尊詩/総務部長・山口謙次/行政経営担当部長・青田悟朗/子ども・高齢者・健康担当部長・津村直行/都市環境部長・北田恵三/都市計画担当部長・林茂晴/会計管理者・高山栄昭/教育委員会学校教育部長・丹下秀夫/教育委員会社会教育部長・西本賢史/市議会事務局長・和泉健之

【退職】 ()内は旧役職名

戸島透(技監) 松本博(総務部長) 谷崎明日出(都市環境部長) 砂田章吉(都市計画担当部長) 今倉明(会計管理者) 上月敏子(教育委員会学校教育部長) 橋本達広(教育委員会社会教育部長) 前村光俊(市議会事務局長)

問い合わせ 人事課 ☎38-2019